

新たな管理型最終処分場候補地選定委員会(第3回委員会) 会議要旨

平成 29 年9月6日(水) 13:00~16:30
高知城ホール 2階 せんだん

1 出席

(1) 委員

・9名(欠席:岡林宏二郎委員、吉村文次委員)

(2) 事務局

・田所林業振興・環境部長、森下副部長、萩野環境対策課長 他4名

2 報告事項

(1) エコサイクルセンターの埋立廃棄物からの発煙事象への対応について

【事務局】

・平成 28 年 8 月 29 日、9 月 2 日に発生した埋立廃棄物からの発煙について、原因(推定)及び再発防止策等を報告。

(2) 候補地選定に係る土地の公募結果について

【事務局】

・候補地選定の対象となる土地の公募を平成 29 年6月 30 日から8月 31 日までの約2ヶ月間実施し、南国市白木谷、南国市成合、土佐市甲原、日高村柱谷の4件の応募があったことを報告。
・応募の土地要件を満たしていることを確認の上、1次スクリーニング、2次スクリーニングを行う。

(3) 第2回委員会における審議の概要等について

【事務局】

・第2回委員会の会議要旨を説明した上で、被覆型最終処分場の事例(エコサイクルセンターにおける遮水工や地下水等の水対策、全国の事例)及び最終処分場の形式ごとの土砂災害や風水害等のリスクとその対応について説明。

【主な意見等】

・最終処分場の形式ごとの土砂災害や風水害等のリスクについて、想定し得る全てのリスクを挙げているが、必ずしもこういう災害が発生するわけではないことは理解する必要がある。

3 議題

(1) 1次スクリーニング結果について(1次調査対象地(案)の抽出結果)

・本議題の審議において使用する詳細な図面や画像等は、高知県情報公開条例第6条第1項第2号に規定される非開示情報に該当するものと判断されることから、委員会の設置要綱第6条第4項に基づいて非公開審議とすることが決定された。(公開審議が全て終了した後、本議題を非公開にて審議した。)

・委員会終了後、同日 19 時より県政記者室において、非公開とされた審議の結果等について記者発表を行った。

→ 記者発表資料:環境対策課ホームページにて公開

(2) 2次スクリーニングの評価項目及び評価方法(案)について

【事務局】

- ・ 2次スクリーニングの評価方法(案)及び評価項目(案)について説明。→ 承認

【主な意見等】

- ・ 四万十川条例を評価項目の1つとすることは、高知県らしさを出していると言える。
- ・ 評価の結果、○の数が同じ場合は、優劣はどのように判断するのか？防災の観点による項目がより重要など、項目毎の重み付けはどうか？
→ 『意見に対する対応等』:①による
- ・ 大字が公表され場所が特定された後に、後付けで評価項目を入れるのは好ましくない考える。
→ 『意見に対する対応等』:②による
- ・ 今までは区域であったものが、今回、1次調査対象地として箇所が特定されたので、今後は、その時、その時で箇所による相対的な評価も加わってくるのではないか。
→ 『意見に対する対応等』:②による
- ・ スクリーニングをやってみないと分からないが、客観的な判断基準を持って評価を行う努力が必要と考える。→ 『意見に対する対応等』:②による
- ・ 今後の絞り込みの各段階において、評価表等の資料には、大字は出さず、図面からも位置や場所が分かる記号などは消して、番号で表記していただき、客観的に判断したいと思う。
⇒逆に周辺環境などの社会的要因も含めて、今後は判断をしていく必要がある中で、そういった情報等を省いて客観的な判断ができるのか？という懸念がある。(委員より)
- ・ 防災の観点の項目と民有林等の項目が同じ○△×の評価でいいのか？と思う。
⇒2次スクリーニングの評価は○△×の集計で行うが、集計結果を見て、箇所の絞り込みが難しい時には、客観的な評価方法を考えていくことでいいのではないか。(委員より)
→ 『意見に対する対応等』:①による

『意見に対する対応等』

- ① 今回、承認された評価項目及び評価方法による評価表を事務局により作成し、その結果を次回の委員会において審議いただき、その結果によっては重み付けを行う必要があるといったことや、評価表の○の数等によって、次の段階へ進む箇所数の一定の目安にするなどの判断をしていただく。
- ② 本日の委員会において、3次及び4次スクリーニングの想定評価項目を一例として示すが、あくまでも今後の委員会において、決定された評価項目等により絞り込みを進めていく。

(3) 今後の選定スケジュールについて

【事務局】

- ・ 1次調査対象地(案)の箇所数が104箇所となったことから、他県における絞り込みの段階の事例(箇所数の推移)も参考にし、今後、丁寧かつ慎重に箇所を絞り込んでいくために、スクリーニング回数の見直しを行い、委員会の開催回数を1回追加することを説明。→ 承認

【主な意見等】

- ・ スクリーニングを1回追加することは精度を増すことになり、当然のことと考える。

4 その他

今後のスクリーニングのイメージについて

【事務局】

- ・現在想定している3次スクリーニング及び4次スクリーニングの評価項目と評価内容(一例)を説明。

【主な意見等】

- ・客観的な評価を行うことから、評価項目が多く評価方法が難しくなると感じたが、実際の評価結果を見ながら考えていかざるをえないと思う。